



総合質管理(TQM)部ニュース

2025年12月号(第29号)



今月は、医療安全管理課と感染管理課より報告です。

文責 医療安全管理課 今村里美

育もう！「報告する文化」あなたの【気づき】が未来の安全を作ります♥

なぜ、「報告する文化」が大切か？

医療安全の土台は、日々の小さな【気づき】にあります。【ヒヤリとした】【ハットした】【危なかった】【いつもと違う】【ルールが守られていない】こうした情報を共有する【報告する文化】こそが、大きな医療事故を未然に防ぐための最も重要な鍵となります。

報告が【財産】になるメリット

報告された事例は、院内全体の
かけがえのない「財産」に



リスクの可視化:

どこに危険が潜んでいるかが見えるようになる

根本原因の分析:

「なぜ起きたか」を分析し、再発防止策を立てられる

組織の学習:

一人の経験を全員の学びに変え安全レベルが向上する

報告する文化をつくる【3つの心構え】

1. <個人の失敗>ではなく<システムの課題>として捉える
 - 報告は「犯人探し」ではありません。背景にある仕組みの問題を見つけるチャンス！
2. <こんなことくらい>と軽視しない
 - 小さな違和感や「レベル0」の報告こそ、重大なリスクの芽を含んでいるなります
3. 報告した勇気を尊重する（非懲罰的文化）
 - 報告してくれたことに感謝し、責めない風土が心理的安全性を高める

【医療安全推進週間】ご協力をお願い

現在、院内では「医療安全推進週間」における報告推進を開催中です。特に<レベル0>や<発見したことで医療事故防止に繋がった事例>を重点的に収集しております。

収集された貴重な事例は、現場の具体的な安全管理や業務改善に活かしていきます。



インフルエンザについて知ろう



インフルエンザとは、インフルエンザウイルスの病原菌によって、急性の呼吸器感染症を引き起こす

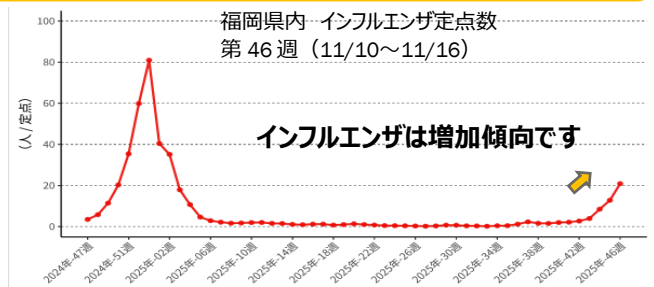
主な症状 突然の発熱（38.0℃以上）、咽頭痛、咳、鼻水、全身倦怠感、関節痛など

特徴 突然の発熱 朝はどうもなかったのに、夕方になって急に強い寒気があり発熱します。

感染経路 飛沫感染と接触感染
潜伏期間は、1～3日間

出勤停止期間 発症日を0日とし5日間経過かつ解熱後2日経過

症状が出たり、同居者にインフルエンザの陽性者がいる場合は、上司に速やかに報告しましょう。



感染予防は、手指衛生です。
感染拡大予防は、『症状がある人』または『インフルエンザ陽性者と接触した人』がマスク着用をしましょう。



文責 感染管理課 右田さなえ